

北海道大野農業高等学校 ボランティア部

自然豊かな北斗市の 持続可能な発展を願って

私たちの高校のある北斗市は、北海道水田発祥の地であり、「農業の宝石箱」と呼ばれるほど、様々な農作物が栽培されています。この豊かな里地里山の自然を後世に伝えていくための活動に取り組んでいます。また、地域の方々との交流を通じて、地域貢献を目指しています。



大野農業高校の水田



大野農業高校の桜並木



所在地：北海道北斗市向野
2丁目6番1号
設立：昭和16年2月25日
生徒数：165名（男子65名、女子100名）



私たちの手で創る北斗市の未来

私たちの高校はボランティア活動推進校として、地域貢献を目指して活動しています。また、北斗市から「SDGs宣言推進事業」に認定されました。そしてJRC活動にて「気づき、考え、実行する」に基づき、私たちの手で、北斗市そして道南地方の未来を創っていく！この志のもと、活動に励んでいます。



自然保護活動

モニタリングサイト1000里地調査

環境省生物多様性センター『モニタリングサイト1000』に登録し、月1回、北斗市の里地里山の植物相調査を行い、結果を報告しています。



北斗市大野地区の里地里山の開花確認種数

地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
A	11	9	7	6	35	11	4
B	3	-	19	10	49	37	10
C	-	-	31	19	65	36	14
D	5	6	8	-	14	-	5
E	5	9	10	5	11	1	0
合計	24	24	75	40	174	85	33

地域活性化活動

サンタクロース活動

毎年クリスマスの時期に、北斗市大野地区の高齢者の皆様に、園芸福祉科で栽培したシクラメンと食品科学科で製造したカップケーキ、そして全校生徒が作成したメッセージカードを届ける活動です。令和5年度で35回目となる伝統活動です。ボランティア部が中心となり、令和5年度は約85名の有志生徒が集まり、民生委員の皆様の案内のもと、北斗市の31世帯のお年寄りの家をまわりました。



大野川の水质調査・生物相調査

月1回、大野川の水质調査と生物相調査を行っています。調査結果はe-水プロジェクトや、中谷工計測技術振興財団科学教育振興助成成果発表会などで発表しました。



コカ・コーラ教育・環境財団 e-水プロジェクト

大野川の底生生物調査

大野川の水质調査

事故ナシキャンペーン・旗の波運動

事故ナシキャンペーンとは、交通事故ゼロを願って、本校の園芸福祉科で生産した梨をドライバーの皆様に配付する活動です。当日は約40名の生徒が参加し、幻の梨と呼ばれる「千両」を配付しました。また、旗の波運動は、生徒一人一人が旗を持って道路脇に並び、交通事故を訴える活動です。一列に並んだ旗が波のように見えるため、そう呼ばれています。



本校果樹園での梨の収穫

事故ナシキャンペーン

旗の波運動

地域の自然を守る

大野川や北斗市の里地里山、函館市大森浜などで清掃活動を行っています。また、毎年、北斗市市民植樹祭に参加し、植樹をしています。樹名板の作成にも取り組んでいます。



北斗市市民植樹祭

北斗市市民植樹祭

大森浜クリーン大作戦

大野川の清掃活動

樹名板の作成

地域の清掃活動

外部発信・表彰



高文連道南支部ボランティア功労賞

高文連全道大会



中谷工計測技術振興財団 科学教育振興助成成果発表会ポスター発表

志を受け継いで～未来へバトンを繋げていこう～

私たちは現在、北斗市の自然を守るための調査を行っています。今後はその結果を『はこだて国際科学祭』などで地域に発信し、自然を守る仲間を増やしていきたいと考えています。また、大野農業高校には、本校OBで、松前町の桜公園を育て上げた桜研究家『桜守』である、北海道教育大学の浅利政俊先生がつくられた『桜公園』という桜の品種の標本公園や、同窓会の先輩方が造成した鹿島園、本校に林業科があった頃の樹木の見本林があります。私たちは浅利先生や同窓会の先輩方の志を引き継ぎ、これらの公園を整備して、自然を学ぶ場を創出したいと考えています。また、コロナ禍で先輩方が行っていた、高齢者福祉施設でのボランティア活動を復活させ、地域のお年寄りに喜んでほしいと考えています。



大野農業高校の桜公園

高齢者福祉施設でのボランティア

北海道大野農業高等学校 ボランティア部



3年生 3名
2年生 5名
1年生 1名
合計 9名